

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（商品）	
信託期間	2025年1月24日まで（2015年1月30日設定）	
運用方針	コモディティマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを対象とする有価証券等に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	コモディティマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを対象とする有価証券等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告書（全体版）

# ワールド・コモディティ・オープン（ラップ向け）



第2期（決算日：2017年1月26日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「ワールド・コモディティ・オープン（ラップ向け）」は、去る1月26日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

**本資料の表記にあたって**

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

**○設定以来の運用実績**

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			騰落率	投資信託 組入比率	純資産総額
		税分	込配	み金			
(設定日)	円		円		%		百万円
2015年1月30日	10,000		—		—	—	100
1期(2016年1月26日)	7,308		0		△26.9	98.5	347
2期(2017年1月26日)	8,850		0		21.1	98.7	239

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを概ねとらえることをめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

**○当期中の基準価額と市況等の推移**

年月日	基準価額	基準価額		騰落率	投資信託 組入比率	証券率
		騰	落			
(期首) 2016年1月26日	円		7,308	%	—	98.5
1月末			7,775	6.4		98.9
2月末			7,299	△0.1		98.8
3月末			7,598	4.0		98.8
4月末			7,789	6.6		98.8
5月末			7,878	7.8		98.7
6月末			7,772	6.3		98.6
7月末			7,445	1.9		98.9
8月末			7,599	4.0		98.8
9月末			7,509	2.8		98.9
10月末			7,815	6.9		98.9
11月末			8,365	14.5		98.9
12月末			9,084	24.3		99.0
(期末) 2017年1月26日			8,850	21.1		98.7

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について

（第2期：2016/1/27～2017/1/26）

#### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ21.1%の上昇となりました。



第2期首： 7,308円  
 第2期末： 8,850円  
 (既払分配金 0円)  
 騰落率： 21.1%

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

商品（コモディティ）市況が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第2期：2016/1/27～2017/1/26）

◎商品市況

- ・2016年11月の石油輸出国機構（OPEC）総会で8年ぶりの原油減産が合意されたことや非OPEC主要産油国も協調減産を表明したことなどを受けて、WTI原油先物市況などが期首に比べて上昇しました。また、欧米経済指標の改善や中国の公共投資拡大観測を背景に工業用金属需要が増大するとの期待が高まったことなどを好感して、銅などが期首に比べて上昇しました。
- ・為替市況は、期首に比べて4.2%の円高・米ドル安となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<ワールド・コモディティ・オープン（ラップ向け）>

- ・コモディティマザーファンド受益証券の高位組み入れを期を通じて維持しており、期末時点での組入比率は、99.7%としています。

<コモディティマザーファンド>

基準価額は期首に比べ21.5%の上昇となりました。

- ・期を通じて世界の商品市況全体の値動きを対象とする上場投資信託証券（ETF）を高位に組み入れました。期末時点でのS&P GSCI商品指数<sup>®</sup>エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・イージーUCITS・ETF（クラスA米ドル建受益証券）の組入比率は、98.9%としています。
- ・当期は、保有するETF（米ドルベース）が上昇したことなどを受けて基準価額は上昇しました。

（ご参考）

**S & P G S C I 商品指数® エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20 トータル・リターン指数のセクター別構成割合と構成要素（2016年11月30日時点）**

エネルギー	47.74%
WT I 原油	13.13%
ブレント	11.01%
軽油	3.06%
灯油	2.85%
無鉛ガソリン	2.87%
天然ガス	14.82%
工業用金属	37.10%
アルミニウム	11.39%
銅	15.54%
鉛	3.13%
ニッケル	2.38%
亜鉛	4.67%
貴金属	15.16%
金	13.43%
銀	1.74%
合計	100%

- ・ S & P G S C I 商品指数® エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20 トータル・リターン指数とは、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が公表する、世界の商品（コモディティ）市況の総合的な動きを表すインデックスです。S & P G S C I 商品指数®の構成要素のウェイトとの継続性及びその比率を維持しつつ、四半期ごとにウェイトの最も高い構成要素の上限を35%に制限し、残りの構成要素の上限を20%に制限します。ウェイトの上限を超えた部分は、残りの構成要素に比例配分します。
- ・ WT I 原油とは：West Texas Intermediateの略で、米国テキサス州産の低硫黄、軽質原油を意味します。ニューヨーク・マーカンタイル取引所（NYMEX）で、原油先物取引の対象として上場されており、その取引価格は原油価格の国際的指標になっています。
- ・ ブレントとは：英領北海で生産される原油のことです。性状は軽質低硫黄です。ブレント原油のスポット価格は欧州の原油価格の指標になっています。
- ・ 四捨五入の関係で数値を合計しても100%にならない場合があります。
- ・ 開示基準日がその他の情報と異なります。

【出所：「S & P G S C I 商品指数®エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・イージー UCITS・ETF」FACTSHEET】

### 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを概ねとらえることをめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

### 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2016年1月27日～2017年1月26日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	508

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

<ワールド・コモディティ・オープン（ラップ向け）>

- ・コモディティマザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、世界の商品市況全体の値動きを概ねとらえる投資成果をめざして運用する方針です。

<コモディティマザーファンド>

- ・米ドル建てのETFであるS&P GSCI商品指数<sup>®</sup>エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・イージーUCITS・ETF（クラスA米ドル建て受益証券）の組入比率を高位に維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年 1月27日～2017年 1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	27 (21) ( 4 ) ( 2 )	0.346 (0.262) (0.053) (0.031)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	12 (12)	0.156 (0.156)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	13 (12) ( 0 ) ( 0 )	0.162 (0.156) (0.003) (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	52	0.664	
期中の平均基準価額は、7,827円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年 1月27日～2017年 1月26日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
コモディティマザーファンド	千口 339,853	千円 254,793	千口 544,807	千円 420,736

○利害関係人との取引状況等

(2016年1月27日～2017年1月26日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・コモディティ・オープン（ラップ向け）>

該当事項はございません。

<コモディティマザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 300	百万円 193	% 64.3	百万円 701	百万円 441	% 62.9

平均保有割合 67.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 100	百万円 -	百万円 -	百万円 100	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2017年1月26日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
コモディティマザーファンド	千口 472,364	千口 267,410	千円 238,637

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。



○投資信託財産の構成

(2017年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コモディティマザーファンド	千円 238,637	% 99.4
コール・ローン等、その他	1,355	0.6
投資信託財産総額	239,992	100.0

(注) コモディティマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（298,803千円）の投資信託財産総額（303,224千円）に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.15円			
------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年1月26日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	239,992,200
コール・ローン等	1,355,109
コモディティマザーファンド(評価額)	238,637,091
(B) 負債	754,768
未払解約金	354,952
未払信託報酬	396,160
未払利息	1
その他未払費用	3,655
(C) 純資産総額(A-B)	239,237,432
元本	270,332,581
次期繰越損益金	△ 31,095,149
(D) 受益権総口数	270,332,581口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,850円

<注記事項>

- ①期首元本額 475,687,986円  
 期中追加設定元本額 395,703,071円  
 期中一部解約元本額 601,058,476円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8850円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は31,095,149円です。

③分配金の計算過程

項 目	2016年1月27日～ 2017年1月26日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	13,754,483円
収益調整金額	－円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	13,754,483円
1万口当たり収益分配対象額	508円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2016年1月27日～2017年1月26日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 285
受取利息	27
支払利息	△ 312
(B) 有価証券売買損益	39,065,160
売買益	52,241,160
売買損	△13,176,000
(C) 信託報酬等	△ 1,099,407
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	37,965,468
(E) 前期繰越損益金	△24,213,434
(F) 追加信託差損益金	△44,847,183
(配当等相当額)	( 179)
(売買損益相当額)	(△44,847,362)
(G) 計(D+E+F)	△31,095,149
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△31,095,149
追加信託差損益金	△44,847,183
(配当等相当額)	(△ 1)
(売買損益相当額)	(△44,847,182)
分配準備積立金	13,754,483
繰越損益金	△ 2,449

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2016年10月26日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## コモディティマザーファンド

### 《第2期》決算日2017年1月26日

[計算期間：2016年1月27日～2017年1月26日]

「コモディティマザーファンド」は、1月26日に第2期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第2期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを対象とするS&P GSCI商品指数®エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・イージーUCITS・ETF（クラスA米ドル建受益証券）に投資を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを対象とする有価証券等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		投 資 信 託 純 資 産 額	託 券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
(設定日)	円		%		%	百万円
2015年1月30日	10,000		—		—	99
1期(2016年1月26日)	7,342		△26.6		98.8	621
2期(2017年1月26日)	8,924		21.5		98.9	302

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、世界の商品（コモディティ）市況全体の値動きを概ねとらえることをめざしますが、特定の指数を上回るまたは運動をめぐした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
	(期 首)		円		%		%
	2016年1月26日		7,342		—		98.8
	1月末		7,823		6.6		99.2
	2月末		7,334	△	0.1		99.1
	3月末		7,641		4.1		99.1
	4月末		7,833		6.7		99.0
	5月末		7,924		7.9		98.9
	6月末		7,818		6.5		98.9
	7月末		7,490		2.0		99.1
	8月末		7,648		4.2		99.1
	9月末		7,560		3.0		99.2
	10月末		7,872		7.2		99.2
	11月末		8,429		14.8		99.1
	12月末		9,159		24.7		99.2
	(期 末)						
	2017年1月26日		8,924		21.5		98.9

(注) 騰落率は期首比。

## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ21.5%の上昇となりました。

基準価額の推移



### ●投資環境について

#### ◎商品市況

・2016年11月の石油輸出国機構（OPEC）総会で8年ぶりの原油減産が合意されたことや非OPEC主要産油国も協調減産を表明したことなどを受けて、WTI原油先物市況などが期首に比べて上昇しました。また、欧米経済指標の改善や中国の公共投資拡大観測を背景に工業用金属需要が増大するとの期待が高まったことなどを好感して、銅などが期首に比べて上昇しました。

・為替市況は、期首に比べて4.2%の円高・米ドル安となりました。

#### ●当該投資信託のポートフォリオについて

・期を通じて世界の商品市況全体の値動きを対象とする上場投資信託証券（ETF）を高位に組み入れました。期末時点でのS&P GSCI商

- 品指数<sup>®</sup>エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・イージーUCITS・ETF（クラスA米ドル建受益証券）の組入比率は、98.9%としています。
- ・当期は、保有するETF（米ドルベース）が上昇したことなどを受けて基準価額は上昇しました。

#### ○今後の運用方針

- ・米ドル建てのETFであるS&P GSCI商品指数<sup>®</sup>エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・イージーUCITS・ETF（クラスA米ドル建受益証券）の組入比率を高位に維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年1月27日～2017年1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	円 12 (12)	% 0.152 (0.152)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	12 (12) ( 0 )	0.150 (0.148) (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	24	0.302	
期中の平均基準価額は、7,877円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2016年1月27日～2017年1月26日)

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
S&P GSCI 商品指数 <sup>®</sup> エネルギー&メタル・ キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・ イージークラスA米ドル建受益証券	105	2,667	236	6,470

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年1月27日～2017年1月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為替直物取引	300	193	64.3	701	441	62.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年1月26日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) S&P GSCI商品指数®エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・ THEAM・イージーUCITS・ETF (クラスA米ドル建受益証券)	千口 217	千口 86	千アメリカドル 2,640	千円 298,759	% 98.9
合 計	口 数 ・ 金 額 217	86	2,640	298,759	
銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 98.9% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

【ETF (上場投資信託) の概要】

ETFの直近の入手しうるアニュアルレポート等から抜粋して作成しています。

ファンド名	S&P GSCI商品指数®エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20・THEAM・イージーUCITS・ETF (クラスA米ドル建受益証券)
内 容	「S&P GSCI商品指数®エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20 トータル・リターン指数」をベンチマークとし、それと同等のリターンを達成することを目的とするETFです。
ベンチマーク	S&P GSCI商品指数®エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20 トータル・リターン指数
決 算 月	12月

ETFの対象指数について

- S&P GSCI商品指数®エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20 トータル・リターン指数

S&P GSCI商品指数®エネルギー&メタル・キャップド・コンポーネント35/20 トータル・リターン指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表する、世界的商品(コモディティ)市況の総合的な動きを表すインデックスです。S&P GSCI商品指数®の構成要素のウェイトとの継続性及びその比率を維持しつつ、四半期ごとにウェイトの最も高い構成要素の上限を35%に制限し、残りの構成要素の上限を20%に制限します。ウェイトの上限を超えた部分は、残りの構成要素に比例配分します。



S&P GSCI® ENERGY & METALS CAPPED COMPONENT 35/20 THEAM Easy UCITS ETF  
 (旧名称: S&P GSCI® CAPPED COMPONENT 35/20 THEAM Easy UCITS ETF)

【運用計算書および剰余金計算書】

(2015年1月1日～2015年12月31日)

	米ドル
投資収入および資産	57,487
マネジメント費用	782,078
支払利息	150
その他費用	469,237
保管費用	—
管理費用	—
<b>費用合計</b>	<b>1,251,465</b>
投資純収入	(1,192,978)
実現純利益（損失）:	
投資有価証券	16,776
金融商品	(95,617,830)
実現純利益（損失）	(96,794,032)
未実現評価益（評価損）の純変動:	
投資有価証券	—
金融商品	18,556,511
運用による純資産の増減額	(78,237,521)
設定（償還）	16,453,604
期末時点での純資産の増減額	(61,783,917)
純資産期首	276,850,461
純資産期末	215,066,544

【組入投資有価証券上位10銘柄】

2015年12月31日現在

銘柄	組入比率
UNITED STATES TREASURY BILL 0% 18/02/2016	13.95%
UNITED STATES TREASURY BILL 0% 11/02/2016	13.94
UNITED STATES TREASURY BILL 0% 10/03/2016	13.01
UNITED STATES TREASURY BILL 0% 03/03/2016	11.15
UNITED STATES TREASURY BILL 0% 14/01/2016	10.69
UNITED STATES TREASURY BILL 0% 24/03/2016	10.23
UNITED STATES TREASURY BILL 0% 17/03/2016	9.76
UNITED STATES TREASURY BILL 0% 25/02/2016*	9.30
UNITED STATES TREASURY BILL 0% 04/02/2016	0.93
—	—

○投資信託財産の構成

(2017年1月26日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資証券	千円 298,759	% 98.5
コール・ローン等、その他	4,465	1.5
投資信託財産総額	303,224	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(298,803千円)の投資信託財産総額(303,224千円)に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=113.15円		
-----------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年1月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	304,435,408
コール・ローン等	4,465,248
投資証券(評価額)	298,759,562
未収入金	1,210,598
(B) 負債	2,419,357
未払金	2,419,353
未払利息	4
(C) 純資産総額(A-B)	302,016,051
元本	338,417,729
次期繰越損益金	△ 36,401,678
(D) 受益権総口数	338,417,729口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,924円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 846,851,120円  
 期中追加設定元本額 415,218,628円  
 期中一部解約元本額 923,652,019円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8924円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・コモディティ・オープン(ラップ向け)	267,410,457円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)	20,827,482円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)	50,179,790円
合計	338,417,729円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は36,401,678円です。

## [お知らせ]

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める(分散型に分類)ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。(2016年7月1日)

## ○損益の状況 (2016年1月27日~2017年1月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 4,442
受取利息	506
支払利息	△ 4,948
(B) 有価証券売買損益	85,724,734
売買益	139,150,581
売買損	△ 53,425,847
(C) 保管費用等	△ 706,492
(D) 当期損益金(A+B+C)	85,013,800
(E) 前期繰越損益金	△225,125,362
(F) 追加信託差損益金	△104,495,334
(G) 解約差損益金	208,205,218
(H) 計(D+E+F+G)	△ 36,401,678
次期繰越損益金(H)	△ 36,401,678

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。